

# 御蔵芝の熊野神社について(一)

(NO. 351)  
平成27年1月

茂原市の最北東部にある御蔵芝に熊野神社がある。この神社が位置する地名は豊岡村御蔵芝字宮之台であったが、字名が北輪名目になり、今は茂原市御蔵芝七二四番地となっている。

御蔵芝は、明治二十二年(一八八九)町村制施行に伴う町村合併により、豊岡村に編入された。その後、昭和三十一年(一九五六)に本納町、昭和四十七年(一九七二)には本納町と茂原市の合併により、茂原市御蔵芝となった。

御蔵芝という地名は、大変珍しい地名でこれについては諸説ある。古くは芝と言っていたという。戦国時代初期に活躍し、七里法華で有名な上総国土気城主の酒井小太郎定隆の領地に、農産物の蔵を建てたことから、地名を御蔵芝に変えたとも言われている。

また、古老によると、伊豆七島の御蔵島と関連があるとも言う。

熊野神社の由緒はかなり古く、応徳年間(一〇八四〜一〇八七)頃の創建で、紀伊の熊野神(熊野大権現)を勧請したと今に伝えられている古社である。祭神は伊弉諾命と伊弉册命である。旧号は熊野権現と称したが、明治三年(一八七〇)九月に熊野神社と改号され今日に至っている。

境内社は、天神社、子安神社、八幡神社、春日神社、水神社、御嶽神社、厳島神社の七社であったが、明治四十二年(一九〇九)十一月からは御嶽神社と厳島神社の二社がなくなり五社となっている。なお、境内社とは神社の境内に、本社とは別に祀られている神社をいい、氏子もいなく社格も無い神社をいう。

茂原市内で一番多い神社は八幡神社で十六社、次いで熊野神社、稲荷神社、八坂神社がそれぞれ六社となっている。明治十二年(一八七九)に作成された各神社の由緒、祭神、

社殿等が記載された「千葉県神社明細帳」によると、熊野神社は八社ある。立木、大沢、小林、千沢、木崎、小萱場、真名(天照大神末社)、そしてここ御蔵芝にである。

それぞれの祭神は異なっており、しかも一社に一柱とは限らない。内務省によって定められた神社の統一整理による。すなわち、一村一社化により、寺院の支配下にあった神社の独立化いわゆる神仏分離などが背景にあると考えられる。

それぞれの主祭神は、立木が伊弉諾命、大沢・素戔嗚尊、小林・伊弉册命、千沢・櫛御氣野命、木崎・櫛御氣野命、真名・伊弉册命、そして御蔵芝は伊弉諾命と伊弉册命である。

茂原市文化財審議会委員 片岡 栄



▲熊野神社 (御蔵芝)

## 文芸コーナー

### 言葉の力

金網 あき子

一人暮らして認知症だなんて

言われたら どうしよう

おどおどしながら エムアールアイとやらで

脳内診断をした

お齡はおいくつですかの問いに

迷わず八十四歳と数ヶ月と答えた

映像をじっと見ている医師の表情

もうお齡ですからね と言われると思ったら

なんと お齡にしてはとても良い状態です

まさかの言葉に安堵する

言葉は明暗のわかれ道

宝石にもなり 悪魔にもなる

頭もすっきり 足もと軽く

はずむ足どりで家路を急ぐ

晴れた心に鳩が飛ぶ

◎選評 斎藤正敏

診断の結果良かったですね。それにしても一寸した言葉ひとつが明暗のわかれ道になるのですね。心したいものです。

- 偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。
- 投稿は楷書でお願いします。

※詩の原稿送付先(直接選者)へ 〒297-0032 茂原市東茂原7番地 斎藤正敏宛。  
「広報もばらの詩」と朱書きしてください。原稿は30行以内でお願いします。

